

1 目指す学校

教育目標	日本国憲法・教育基本法及び学校教育法を基盤として、学習指導要領の趣旨を踏まえ、勉学と勤労の両立を図り、次の目標を掲げて教育を推進する。	真理	真理を探究し、知性を高める。
		勤労	勤労を愛し、自主協調の精神を培う。
		友愛	友愛の精神を培い、個性を伸ばす。
スクール・ミッション	「真理」「勤労」「友愛」を教育目標に掲げ、勉学と勤労の両立を図ります。基礎学力の定着、生活習慣の確立に加えて、特別活動や地域交流を通じて自主性・協調性を養いながら自己肯定感を高めるとともに、コミュニケーション力やチャレンジ精神を育成します。		
この教育目標とスクール・ミッションを達成するために、次の3つのスクール・ポリシーで臨む。			
グラデュエーション・ポリシー	① 基礎学力を身に付け、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育成します。 ② 自ら課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぼうとする人間を育成します。 ③ 地域社会の一員として、地域社会に貢献しようとする志高い人間を育成します。		
カリキュラム・ポリシー	① 落ち着いた学習環境で、働きながら、基礎学力の定着と学力向上ができる学校を目指します。 ② キャリア教育が充実しており、多様な進路希望を実現できる学校を目指します。 ③ 学校行事や部活動が充実しており、豊かな人間性を育成できる学校を目指します。		
アドミッション・ポリシー	① 高校で学びたいと希望し、授業を大切に、基礎的な学力を身に付けようとする生徒を求めています。 ② 学習できることに感謝する気持ちをもって休まず通学し、日々の努力を大切にする生徒を求めています。 ③ 礼儀、言葉遣い、時間厳守など、社会生活に必要なマナーやルールを身に付けようとする生徒を求めています。 ④ 他人を思いやり、社会の中で自分を生かしていく力を伸ばそうとする生徒を求めています。 ⑤ 進学や就職など自分自身の将来について夢をもち、それを実現しようと努力する生徒を求めています。 ⑥ 学校行事や部活動など授業以外にも積極的に取り組み、学校生活を充実させようとする生徒を求めています。		

2 中期的目標とその達成に向けた方策

「入って良かったと思える学校」を目指して、落ち着いた学習環境のもと、学力向上・進路実現・人間性を磨く教育を推進するために、以下の中期目標と方策を定める。

中期目標	(1)	落ち着いた学習環境を整え、生徒一人一人の基礎学力の定着と学力向上を目指す。	
	(2)	自己有用感を高めるとともに、社会性を身に付けさせながら多様な生徒の進路実現を図る。	
	(3)	生活指導指針に基づき、規律ある学校生活を定着させるとともに体力及び健康の増進を図る。	
	(4)	地域、近隣学校、関係機関および家庭との連携を深め、組織的な学校運営を推進する。	
方策	①	「わかる」「楽しい」「ていねい」な授業に向けた授業改善と工夫	学習指導
	②	授業規律の確保と生活指導指針に基づいた基本的な生活習慣の確立	学習指導・生活指導
	③	アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善	学習指導
	④	家庭との連絡を密に取ることにより中途退学を未然に防ぎ、学力向上を目指す	学習指導・生活指導
	⑤	学校安全計画に基づいた安全教育及び防災教育の推進	生活指導・特別活動
	⑥	環境教育を視野に入れた美化活動の徹底とエコロジーの推進	生活指導・特別活動
	⑦	心身の健康作りのための組織的・計画的な取り組み	生活指導・健康作り
	⑧	キャリア教育の視点を意識した4年間の計画的・組織的な進路指導の充実	進路指導
	⑨	学校行事や部活動の活性化と国際理解教育の推進	生活指導・特別活動
	⑩	組織的な広報活動の充実と募集対策の工夫・充実	広報活動・募集活動
	⑪	学校運営連絡協議会の学校評価を活用した学校改善と特色ある教育活動の実践	学校運営
	⑫	企画調整会議をはじめ、各分掌・各学年・各教科・各委員会の活性化の推進	学校運営
	⑬	組織的OJTの推進による人材育成と校内組織の活性化	学校運営
	⑭	経営企画室との連携推進と自律経営予算の有効活用の推進	学校運営

3 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

様々な教育活動を通して自信を付け、社会性を身に付け、進路目標をもって、自己実現を図っていく。

(1) 重点目標と具体的方策

重点目標	(1)	基礎学力の向上とコミュニケーション能力の向上
	(2)	家庭との連絡を密に取ることによる中途退学者の未然防止
	(3)	学校PR活動の強化
	(4)	「相手を思いやる心」の育成
具体的方策	①	一人1台端末を活用し、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善や授業力向上を相互の授業公開や他校の指導教諭の授業見学により実現する。また、他校の研修会に参加し、基礎学力定着の方策を検討・実践する。
	②	授業内容の定着が不十分な生徒対象の補習・補講を日常的に実施し、基礎・基本の定着を図る。また、毎学期家庭に成績等を郵送し、生徒の学習状況等の共通理解を図ることにより、中途退学者を未然に防ぎ、個別の学力伸長とともに進路実現を図る。
	③	教育のDXを推進し、知識習得型の学びと探究型の学びのベストミックスを図る。
	④	教務部を中心として授業公開・学校説明会等の広報活動と募集活動を組織的に行う。随時、学校見学を受け付け、近隣中学校訪問を継続する。学校案内・ポスター・学校紹介DVDを作成し、各行事毎に写真等をHPに掲載し、学校紹介を充実させる。
	⑤	生活指導指針に基づき、生活指導・保健部と学年が連携して規範意識を育成するとともに基本的な生活習慣の確立を図る。
	⑥	いじめ・体罰を許さない校内の雰囲気や教職員・生徒・保護者で共有し、多様な価値観を認め合う指導を行う。
	⑦	生命を尊重する心の育成やSOSの出し方に関する教育などストレスへの対処方法を身に付けさせ、自殺予防を図る。
	⑧	体力テストや球技大会等の体育的行事を計画的に実施し、体力向上を進めるとともにチャレンジ精神を育成する。
	⑨	計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。また、年次有給休暇の計画的な取得を推進する。

(2) 数値目標

令和4年度の数値目標		R3年度 ← 2年度 ← H31年度 ← 30年度
①	生徒の授業満足度	92%以上
②	中途退学者	10名以下
③	進路決定率	90%以上
④	部活動 全国大会出場	1部以上
⑤	一次入試応募倍率	1.0倍以上
		91.1% ← 86.4% ← 85.0% ← 74.8%
		5名 ← 7名 ← 16名 ← 4名
		86% ← 88% ← 88% ← 85%
		2部 ← 0部 ← 1部 ← 1部
		0.33倍 ← 0.33倍 ← 0.33倍 ← 0.57倍